

# 二輪車安全運転島根県大会実施要領

二輪車安全運転島根県大会における競技方法および採点については、この要領を定めます。

## 1 競技のねらい

### (1) 法規履行走行 ～ルールやマナーが実践できるライダーの育成～

二輪車は、手軽で利便性に富み国民に幅広く利用されているが、その軽快性のため、利用の仕方によっては他の歩行者、車両等に危険を及ぼしたり、逆に被害を受けたりし易く、安全かつ適正な運転が求められます。そのためには、二輪車のライダーが、交通ルールやマナーを単に知識として知っているだけでなく、実際の交通の場において交通法規に従った運転を、確実に実施できる能力を身につけていることが大切です。

### (2) 技能走行 ～運転技能の向上～

二輪車の運転技能の向上を図るには、走る・曲がる・止まるを基本とした人車一体のバランスの取り方を正しく修得する必要があります。運転中には物理的な力（重力・摩擦力・慣性力・遠心力・衝撃力など）が働くため、それらに対応できる技能が必要とされます。それには前後・左右・上下のバランスを取るための重心移動や、衝撃吸収が適切にできる技能が要求されます。

## 2 競技内容

法規履行走行及び技能走行を実施します。

### (1) 法規履行走行

法規履行コースで、法規の履行状況を採点します。

### (2) 技能走行

ア コース等に設けた次の6課題について採点します。

- ブレーキング
- 応用千鳥
- ストレートブリッジ
- コーススラローム
- コーナリング
- コンビネーションスラローム

イ 1課題、1トライ制とします。

- 選手の過失による走行不能（車両故障、傷病）、指示違反及び課題不履行があった場合は、当該課題は失格とします。
- 天候等の状況により、競技内容を変更することがあります。

## 3 競技の採点

- (1) 採点基準の共通事項は、別添1「採点基準共通事項」のとおりとする。
- (2) 法規履行走行の採点は、別添1「法規履行走行の採点基準」のとおりとし、コースは、別添2「法規履行走行コース図」のとおりとする。
- (3) 技能走行の採点基準の共通事項は、別添3「技能走行の採点基準」のとおりとする。

- (4) 上記の課題ごとの要件，採点基準等は，別添4「技能走行コースの課題ごとの要件と採点基準」のとおりとする。技能走行のコースは，別添5「技能走行コース」のとおりとする。

#### 4 配点

競技ごとの配点は，次のとおりとする。

競技科目	持ち点	最大減点
法規履行走行	500点	500点
技能走行	500点	500点(1課題100点×6課題)
計	1,000点	1,000点

#### 5 表彰数

表彰数については，出場者数等を考慮して次のとおりとする。

(各クラス共通)

出場者	表彰数
3人以下	1人
4～6人	2人
7人以上	3人

#### 6 各課題のスタート，ゴール時の留意点

##### (1) スタートの準備

各競技を開始するにあたり，競技を円滑に進行するため，規律と節度ある行動を心掛け，服装などの装備の確認，車両の点検などを確実に行うこと。

##### (2) スタートの手順

- 待機場所で競技車両の点検を行い，審判員の指示を待つ。
- 審判員の指示で，ゼッケン番号順に整列する。
- 審判員は，氏名、ゼッケンを確認する。
- 審判員の指示に従い，順次スタートする。

##### (3) ゴールの手順

法規履行コースでは停止位置において正しく停止し，エンジンを止め、後方の安全を確認した上で降車する。その後，審判員の指示に従いエンジンを止めたまま所定の位置に車両を移動する。

技能コースでは停止位置において正しく停止し，審判員の指示に従い後方の安全を確認した上で発進して，次の地点まで進む。

#### 7 競技上の注意事項

- (1) 競技は、法令を守り、正しい操作を行うこと。
- (2) 採点は、乗車する時から走行を終り、下車するまでの間の全てについて行う。(エンジンの始動および停止を含む。)
- (3) 出発点ではサイドスタンドを立て、エンジンを止めて車の左側に位置して待機すること。
- (4) 審判員の「スタート」の合図で、後方の安全を確認し発進すること。
- (5) 安全確認は、明確な動作によって行うこと。
- (6) 通行区分は、コース左側端おおむね1メートル以内の部分を通行すること。
- (7) コース内の標識、標示はすべて有効なものとする。
- (8) 走行中は、みだりにフットレスト（ステップ）から足を離さないこと。
- (9) 最高速度は法定速度とし、それに反しない限り走行可能な速度とすること。
- (10) 走行コースを間違えた場合は、法令に従って走行し正規のコースに戻り完走すること。
- (11) 審査についての異議申立ては受け付けない。
- (12) 競技中の事故（受傷）は、本人の責任とする。

## 8 その他

コーススラローム及びコンビスラロームの走行基準タイムは当日発表する。

## 採点基準共通事項

### 1 指示違反

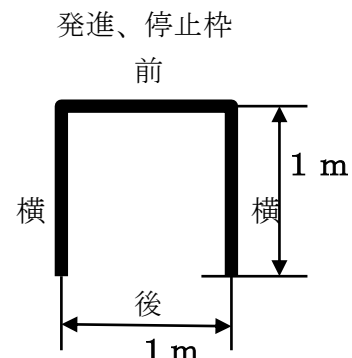
(1) 発進枠側線踏み

発進時に発進枠の側線を踏んだ（前輪又は後輪の接地面）

(2) 停止枠外停止

前輪の先端が停止枠を越えた，車輪の接地面が側線を踏んだ，前輪の先端が停止枠に入っていない場合。

- (3) 服装装備などが安全運転大会の選手として相応しくないと2名以上の審判員が認めた場合，並びに審判員の指示に従わない場合。



## 法規履行走行の採点基準

法規履行走行が行われるコースで，法規履行能力，とりわけ，安全確認，一時停止，進路変更，合図，右左折方法等を採点する。

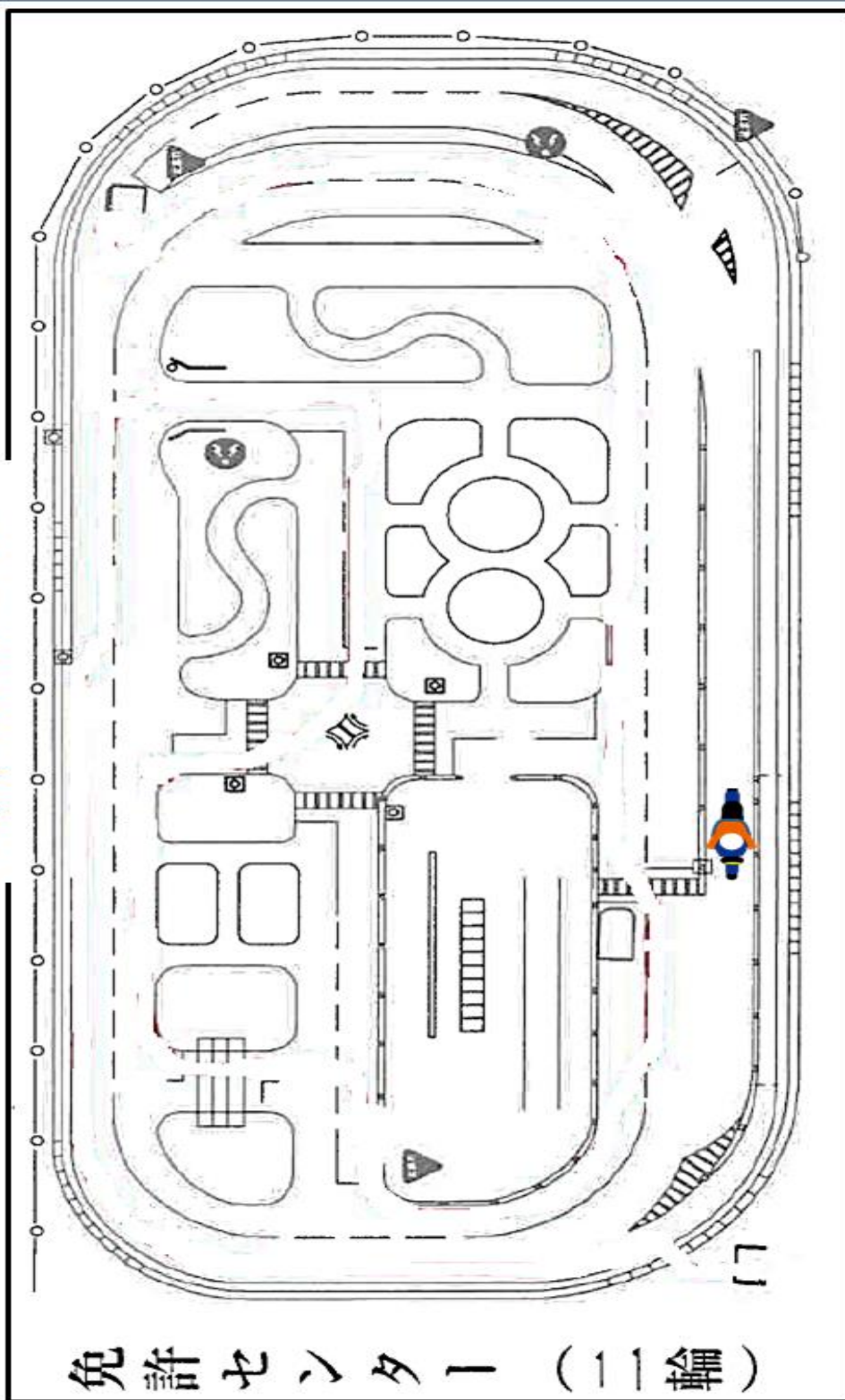
<採点基準>

(最大減点500点)

減点 40	減点 20	減点 10	減点 5
脱輪 一時不停止 踏切不停止 右側通行 信号無視 進行妨害 指示違反 歩行者保護（不停止）	安全不確認 交差点変更不適 優先判断不適 徐行不履行 側方間隔不適 右足ささえ コース誤り	合図しない 右左折方法不適 アクセルむら 急ハンドル ふらつき(バランス) ロック停止 駐停車方法不適	合図（戻し・不適） 安全装置(ミラー・スタンド) 乗車姿勢不適 エンジンスト 発進手間取り 速度維持不適 停止位置不適

※ ここに定める採点基準は，競技会の主旨と運営に沿って作成したもので，運転免許試験における技能検定のものとは異なる。

法規履行走行コース



## 技能走行の採点基準

- 1 安全不確認  
発進位置からの発進時及び、停止位置からの再発進時に右後方を目視で確認しない。（コース内は除く）
- 2 発進手間取り  
審判員のスタート指示に対して、速やかに（3秒程度）スタートしない。
- 3 両足ばなれ  
走行中両足がステップから離れた。
- 4 足つき  
車両が動いている状態で、左右いずれかの足をついた回数をカウント。
- 5 片足ばなれ  
走行中、左右いずれかの足がステップから離れた。  
（ただし、停止位置から2メートル以内の左足ばなれは除く。）
- 6 右足つき  
発進時、停止時に右足又は両足着地した。
- 7 エンスト  
発進から停止までの間にエンストした回数をカウント。  
（ただし、ブレーキングの制動区間を除く）

## 別添4 技能走行コースの課題と採点基準

### 1 ブレーキング(制動) (最大減点40点)

<ねらい>

ブレーキングの目的は、走行中の車を止めることであり、急ブレーキを使用しないゆとりのある運転が必要である。しかし、急ブレーキが必要になった場合に効果的なブレーキングテクニックも重要であり、この技能を身につけるために設けられた課題である。

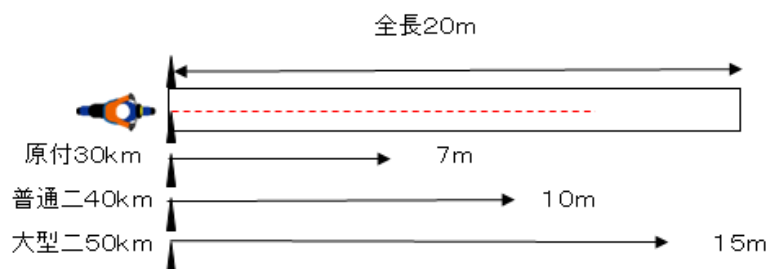
<走り方>

- ① 助走路手前の発進位置において正しい姿勢で停止し、審判員の合図で後方の安全を確認し、発進する。
- ② スタートギアは1速とする。(スクーターを除く)
- ③ 助走路の前半で素早く変速加速し(スクーターを除く)、後半で指示速度に合わせ車を安定させる。なおギアは3速以上とする。
- ④ 制動開始位置から制動を開始する。
- ⑤ 車輪をロックさせないで、停止基準距離内で止める。
- ⑥ 車を完全に停止させ、左足で着地する。
- ⑦ 停止位置で審判員のチェックを受け、指示に従う。

<採点基準>

項目	減点	項目	減点
指示速度不足 5km以内	10	安全不確認	20
5km超~10km以内	20	発進手間取り	10
10km以上	40	両足ばなれ	10
停止距離オーバー 停止基準距離を超え1mごとに	5	足つき(1回につき)	10
コースアウト	40	片足ばなれ	5
転倒	40	右足ささえ	5
指示違反	40	エンスト(制動区間を除く)	5

<コース図>



## 2 応用千鳥走行 (最大減点40点)

<ねらい>

随所にゲートが設けられた車体の傾斜角が制限された狭小コースを、安全かつ的確に通過できる、「バランス」運転技能向上をねらいに設けられた課題。

<走り方>

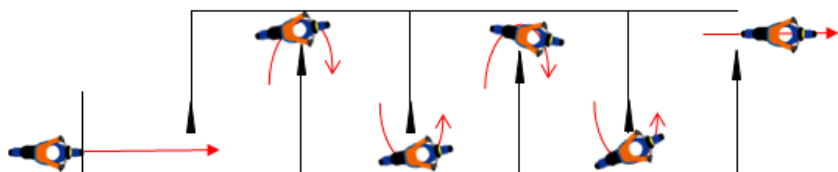
- ① 発進位置において正しい姿勢で停止し、審判員の合図で後方の安全を確認し発進する。  
発進後の立座、着座、中腰等の姿勢は自由とする。
- ② 課題の入口から出口までの間に設けられたパイロン等に接触しないように走行する。
- ③ 適切な傾斜角と内輪差を考慮しながら通過する。
- ④ 停止位置で停止し、審判員のチェックを受け指示に従う。

<その他>

- ① 基準タイム 設定なし
- ② 車両が停止または、後退した状態での足つきは、「足ささえ」とする。
- ③ 足ささえから走行ライン修正の為に車体をバックさせたときは指示違反とする。

項目	減点	項目	減点
コースアウト	40	両足ばなれ	10
転倒	40	足つき(1回につき)	10
指示違反	40	パイロン接触・倒し(1本につき)	10
安全不確認	20	片足ばなれ	5
足ささえ(1回につき)	20	片足ささえ	5
発進手間取り	10	エンスト(1回につき)	5

<コース図>





### 3 ストレートブリッジ(一本橋走行) (最大減点40点)

#### <ねらい>

狭い道路を低速で走行することがしばしばある。その際、ふらつかないで左右のバランスを取り、低速で安全に走行する技能を身につけるために設けられた課題である。

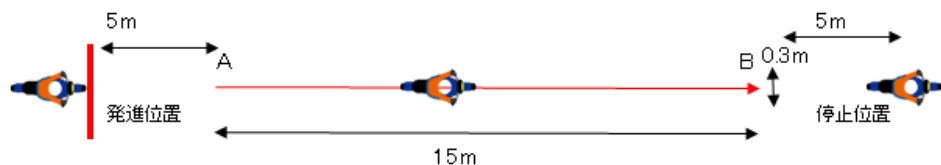
#### <走り方>

- ① 発進位置において正しい姿勢で停止し、審判員の合図で後方の安全を確認し発進する。運転姿勢は着座姿勢とする。
  - ② 車輪が一本橋に載ったら、半クラッチ等を使いながら安定よくなめらかに走行する。
  - ③ 速度が出すぎたときは、後輪ブレーキで調整する。
  - ④ バランスは全身とハンドル操作でコントロールする。
  - ⑤ 視点は一点に置かず、一本橋上を前方、手前と移動させる。
  - ⑥ 停止位置で停止し、審判員のチェックを受け指示に従う。
- ＊ 脱輪した場合は、橋の上に戻らずにそのまま走行すること。

#### <採点基準>

項目	減点	項目	減点
足つき	40	両足ばなれ	10
脱輪	40	片足ばなれ	5
転倒	40	片足ささえ	5
指示違反	40	エンスト(1回につき)	5
安全不確認	20	〇秒に達しない場合1秒ごとに	5
発進手間取り	10		

#### <コース図>



タイムの測定は、前輪の車軸がA点に入ったときから前輪の車軸がB点を通り過ぎるまでとする。  
(基準タイムは当日発表する。)

指示違反・・・着座姿勢をしないなど。

#### 4 スラローム (最大減点40点)

##### <ねらい>

左右に連続する大小のカーブを正しい運転姿勢で安全かつ円滑に操縦できる「走る」「曲がる」「止まる」の総合的な運転技能向上をねらいに設けられた課題である。

##### <走り方>

- ① 発進位置において正しい姿勢で停止し、審判員の合図で後方の安全を確認し発進する。
- ② 指定コースを的確に判断し、アクセル、ブレーキ、クラッチ等を必要に応じてコントロールしながら走行する。
- ③ 進路は変化に富んでいるので、視線はできる限り前方に向け、常に先を読みながらハンドルを操作する。
- ④ 停止位置で停止し、審判員のチェックを受け指示に従う。

##### <その他>

- ① 基準タイムは当日発表する。
- ② タイムの測定は、前輪の先端がA点を通過しB点に達するまでとする。

##### <コース図例>

コースは当日発表する。

##### <採点基準>

項目	減点	項目	減点
指示違反	40	パイロン接触(1本)	10
転倒	40	車体接地(1回につき)	10
コースアウト(両輪)	40	運転姿勢	10
発進時の安全不確認	20	車輪ロック(前輪)	10
コースアウト(片輪1回につき)	20	片足ばなれ	5
発進手間取り	10	右足ささえ	5
両足ばなれ	10	エンスト(1回につき)	5
足つき(1回につき)	10	基準タイムを超え(1秒ごとに)	5

## 5 コーナリング (最大減点40点)

### <ねらい>

一定の半径のカーブを正しい運転姿勢で適切な速度と傾斜角を維持し安定して走行できる「曲がる」運転技能の向上をねらい設けられた課題である。

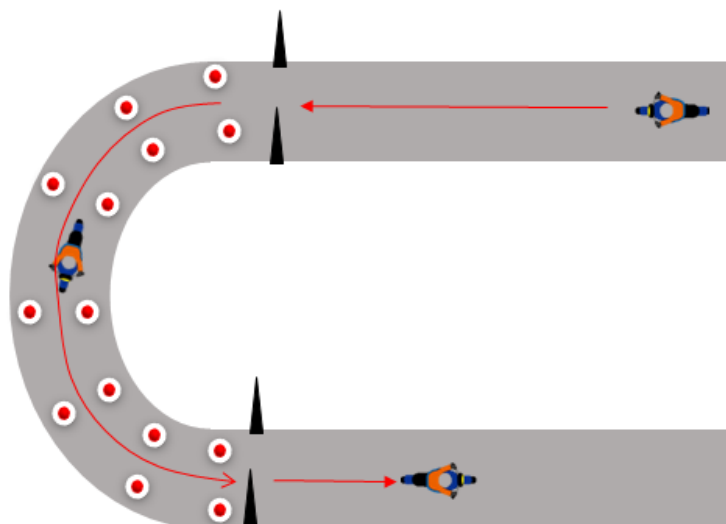
### <走り方>

- ① 発進位置において正しい姿勢で停止し、審判員の合図で後方の安全を確認し発進する。
- ② A地点に侵入するまでコーナーに見合った速度に合わせ、その速度を保ちながら侵入する。
- ③ 天候や路面の状態などにより、摩擦係数が変わる場合には特に注意する。

### <採点基準>

項目	減点	項目	減点
Aゾーンオーバ(1回につき)	5	両足ばなれ	10
Bゾーンオーバー	40	足つき(1回につき)	10
Aゾーンオーバ(内側)	40	片足ばなれ	5
転倒	40	片足ささえ	5
指示違反	40	エンスト(1回につき)	5
安全不確認	20	基準タイムを越え1秒ごとに	5
姿勢(足、膝、腰など)	10		
タイヤ以外の車体設置(1回につき)	10		

※ 基準タイムは当日発表する



## 6 コンビネーションスラローム (最大減点40点)

### <ねらい>

連続する障害物のコースを正しい運転姿勢で安全かつ円滑に操縦できる「曲がる」運転技能向上ををねらいに設けられた課題である。

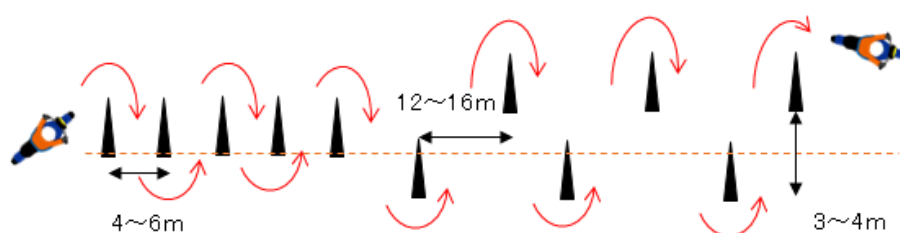
### <走り方>

- ① 発進位置において正しい姿勢で停止し、審判員の合図で後方の安全を確認し、審判員に指示された進入路により進む。
- ② パイロンを通過するときは、接触しない最少限度の傾斜でゆるやかな弧をえがき通過する。
- ③ 停止位置で停止し、審判員のチェックを受け指示に従う。

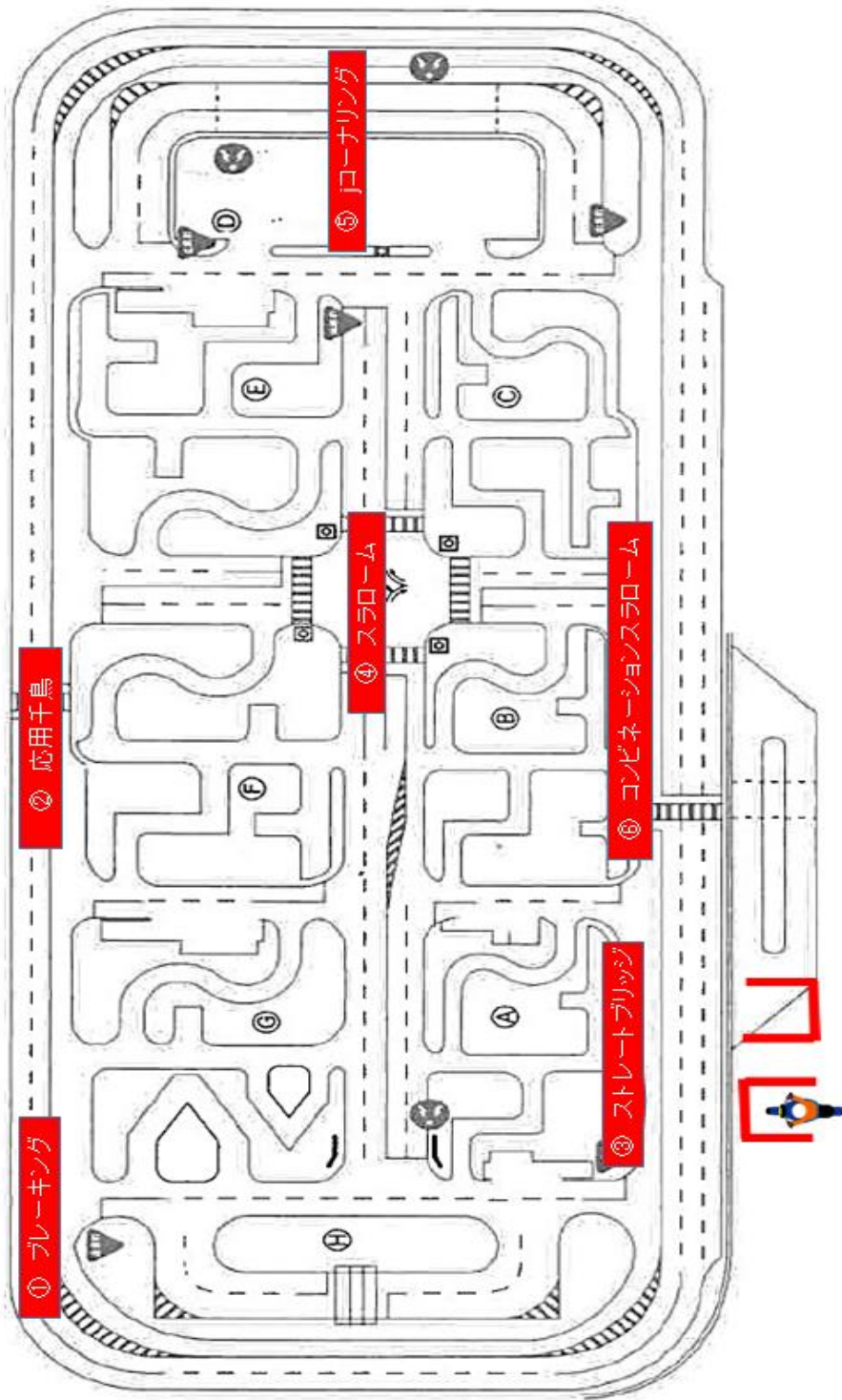
### <採点基準>

項目	減点	項目	減点
転倒	40	車輪ロック(前輪)	10
指示違反	40	パイロン接触(1本)	10
安全不確認	20	片足ばなれ	5
発進手間取り	10	片足ささえ	5
姿勢(足、膝、腰など)	10	エンスト	5
タイヤ以外の車体設置(1回につき)	10	基準タイムを超え(1秒ごとに)	5
両足ばなれ	10		
足つき(1回につき)	10		

※ 基準タイムは当日発表する。



技能走行コース



免許センター（四輪）